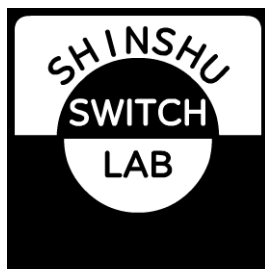


関係者各位



信州スイッチラボ

会員募集のお知らせ

設立趣意

いわゆる障がいのある子ども達は、脳機能の失調によって人生の初めから人や物との自由なコミュニケーションを妨げられることが多く、それ故自ら環境に働きかけ、同時に環境からのフィードバックから学ぶ機会を奪われていると考えられます。中でも運動障がいのある子ども達、または運動障がい、感覚障がい、知的障がいを併せ持つ子ども達、いわゆる障がいの重い子ども達にとって、その傾向はさらに顕著であると思われ、療育や教育の役割が重要であることは言うまでもありません。

近年、障がいのある子ども達の教育が目指す方向性も大きく方向を変えてきました。これまでのできないことをできるようにすることに力点を置いてきた特殊教育から、今ある力を基にしながらも、社会参加とコミュニケーションにより重点を置く特別支援教育へと変化してきたのです。

この変化に伴って、具体的に子ども達のコミュニケーションを支援する機器と技術、そして実際の活用方法の研究の必要性が強く指摘されるようになりました。

しかしながら、支援機器に関する情報と技術は専門的なものが多いために、特定の教員に局在化することが多く、より一般的な手法として活用される場面が少ないと思われま。また人事異動によって特定の教員がいなくなれば、同時に支援機器、支援機器の活用方法、支援機器の作製技術のノウハウが失われることがしばしばあります。

これは障がいのある子ども達にとって、望ましい状況であるとは言い難いものです。

このような現状を鑑み、

- ① 肢体不自由のある子ども達、または障がいの重い子ども達の教育におけるコミュニケーション支援の重要性を深く理解すること
- ② コミュニケーション支援における機器に関する情報、活用方法を共有し、それを拡大すること
- ③ 支援機器の作製技術の研鑽と拡大、そして伝承すること

これら3つの目的を達成するために、信州スイッチラボを立ち上げることにしました。

この目的に賛同し、共に学び、ともに活動する同志を募集します。
多くの有意の皆さんのご参加をお待ちしています。

設立発起人 伊藤英一(長野大学社会福祉学部教授)
青木高光(長野県稲荷山養護学校教諭)
杉浦 徹(長野県稲荷山養護学校教諭)

申し込み締め切り5月10日

FAX送信 稲荷山養護学校 杉浦 徹 宛

(FAX 026-261-3453)

信州スイッチラボ入会申込書	
氏名	
所属	
E-mail Tel番号	
スイッチ等の製作経験	ない 数回 十回以上 自信がある
スイッチラボへの期待を一言	

お願い

- ①会自体が立ち上がったばかりですので、会の運営方法等は会員の方達と相談しながら作っていきたいと思います。皆様のご意見をお待ちしております。
- ②会場には自家用車で来ていただいて結構です。
- ③最寄りの駅は別所線、大学前駅です。
- ④ハンダゴテ、ニッパ等の工具は個人でご用意下さい。
- ⑤ジャックやプラグ等の部品はこちらで購入し、必要に応じて実費でお分けします。
- ⑥不明な点は、toru6848@gmail.com までご連絡を下さい。